

静岡県立ふじのくに中学校の両教場 (磐田本校、三島教室)の取組について



【磐田本校】

〒438-0078

静岡県磐田市中泉1-6-16

天平のまち3階

電話 <0538>37-3003

FAX <0538>37-7000



【三島教室】

〒411-0033

静岡県三島市文教町1-3-93

静岡県立三島長陵高等学校6階

電話 <055>986-3003

FAX <055>986-3700

主な内容

- (1) ふじのくに中学校設置の経緯
- (2) ふじのくに中学校の概要
- (3) 磐田本校の取組
- (4) 三島教室の取組

ふじのくに中学校設置の経緯

県内の潜在的ニーズ

義務教育段階の学び直しを必要としている人

- 1 義務教育未修了者
- 2 中学校の形式的卒業者
(不登校や日本語能力が不十分な生徒等)
- 3 在留外国人

ふじのくに中学校設置の経緯

R2県ニーズ調査結果

【調査概要】

目的	・夜間中学の設置構想を具体化するために、県内全体の入学希望者の概要を把握する。
調査期間	・令和2年10月13日～令和2年12月31日
実施方法	・Webアンケートにより7カ国語で実施 ・夜間中学を紹介する動画も掲載 ※県内の不登校・引きこもり支援団体、外国人支援団体等、各関係機関及び団体にSNSやチラシによる周知を依頼

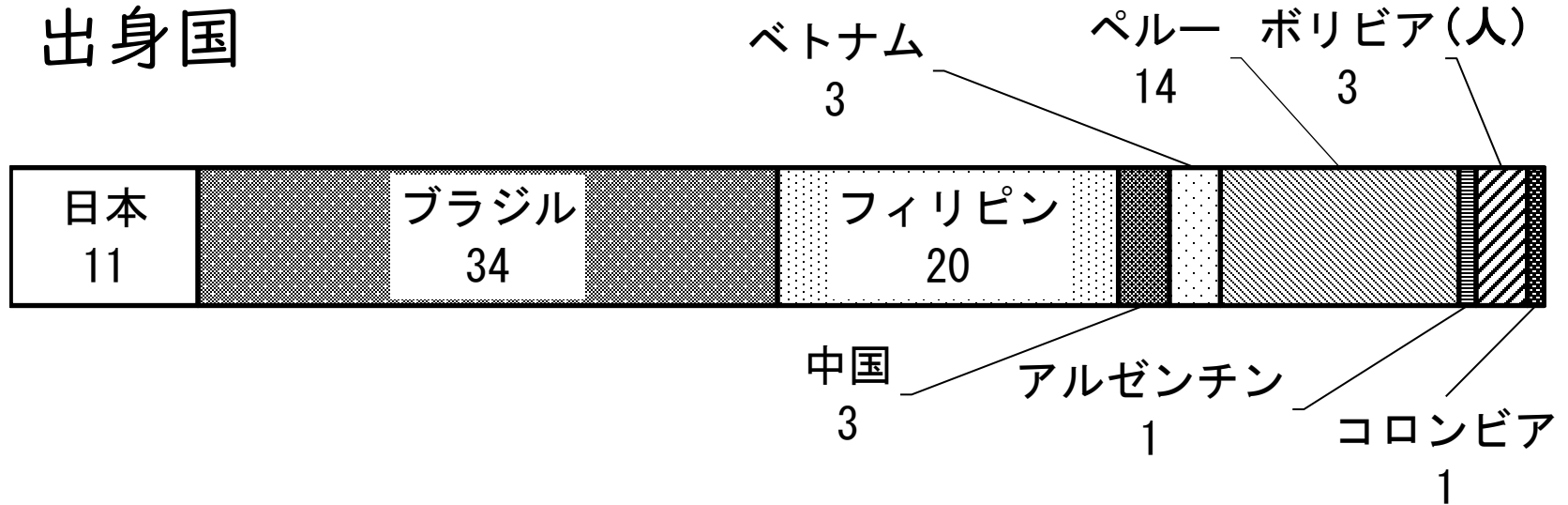
【調査結果（回答数）】

区分	人数（人）	備考
総回答数 A	133	
集計除外数 B	43	集計除外理由（複数理由あり） ・最終学歴が高等学校以上（42人） ・県外在住（4人）
入学対象者数 A-B	90	

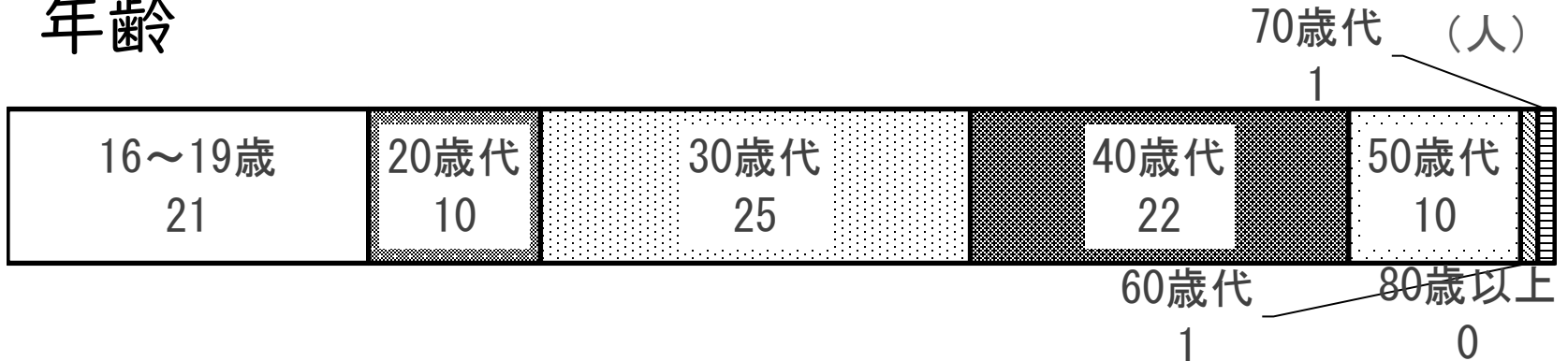
ふじのくに中学校設置の経緯

R2県ニーズ調査結果

○ 出身国



○ 年齢

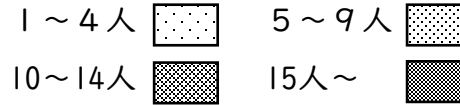


ふじのくに中学校設置の経緯

R2県ニーズ調査結果(入学希望の対象者90人)

設置希望市町
※複数回答可

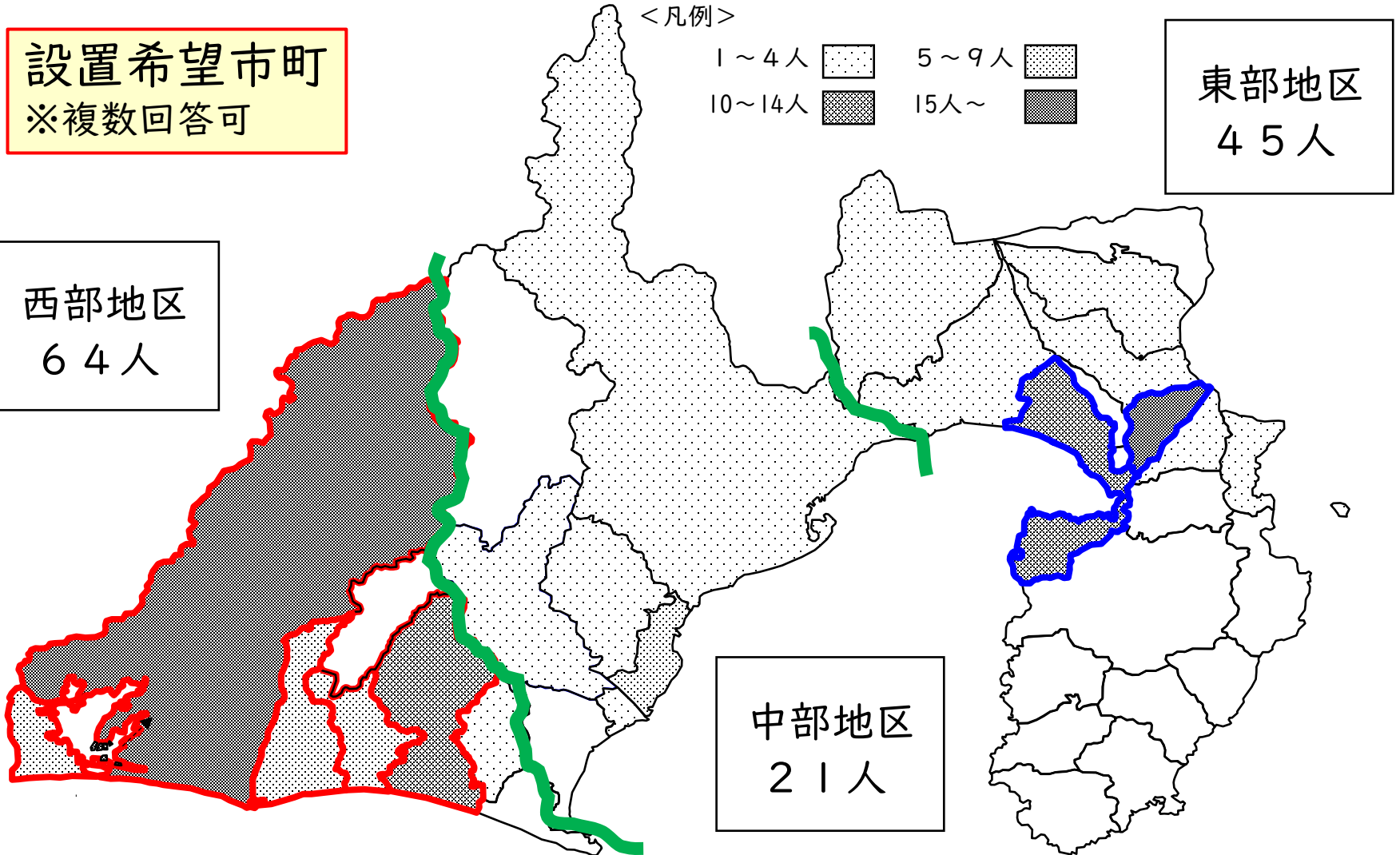
<凡例>



東部地区
45人

西部地区
64人

中部地区
21人

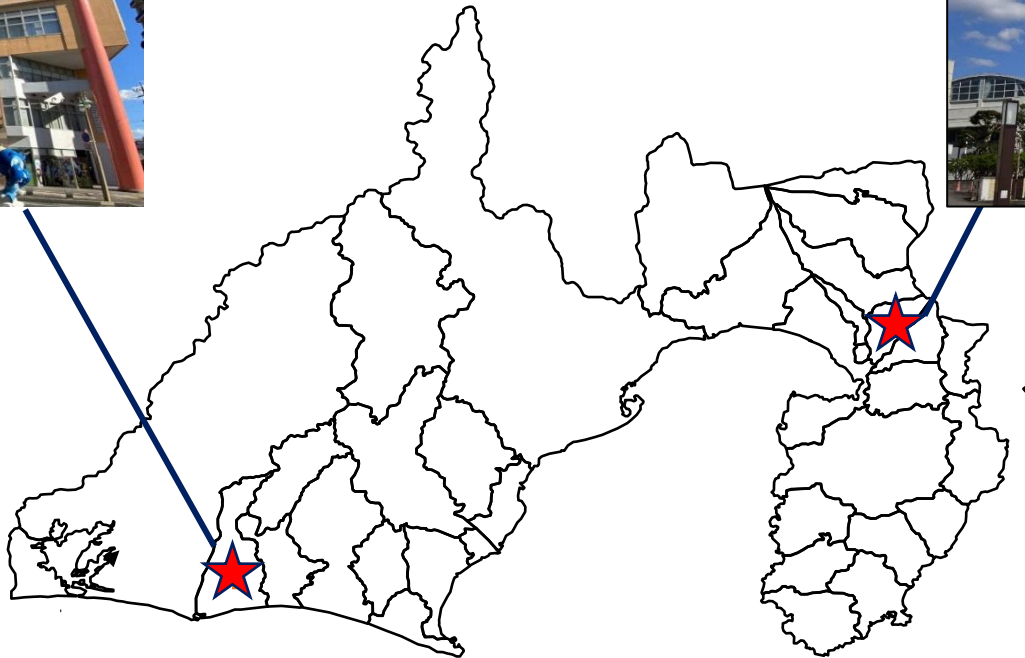


ふじのくに中学校設置の経緯

磐田市「天平のまち」3階内
＜磐田駅北口 徒歩3分＞



三島市 三島長陵高校6階内
＜三島駅北口 徒歩3分＞



- ・ 中部地方（東海・北陸地方）で初の夜間中学！
- ・ 県立での夜間中学設置は全国で3例目！
- ・ 複数教場の同時開校は全国初！

ふじのくに中学校の概要

ふじのくに中学校の 学校教育目標

「学ぶ喜び」 の実感



静岡県立ふじのくに中学校
Shizuoka Prefectural Fujinokuni Junior High School

令和7年度グランドデザイン

文部科学省
義務教育を受ける機会を
実質的に保障

卒業時の姿

- ・自分に自信がついた！
- ・毎日が充実して楽しい！
- ・これからの自分にイメージがもてた！



静岡県

「有徳の人」づくり大綱
誰一人取り残さない教育
の実現

【目指す生徒像】

- ・なりたい自分を見つけ、新たな挑戦や継続した努力ができる
- ・他者に対して優しさや思いやりをもつことができる
- ・自ら考え、行動できる



【目指す教師像】

- ・生徒の良さを見つけ、認め励まし、伸ばす指導ができる
- ・生徒の目標、資質や能力に応じ、適切な支援ができる
- ・学ぶ楽しさが実感できる授業を実践する



教科指導・日本語指導

- ・教科の本質を楽しめる授業を行います。
- ・探究的な活動や自律的な活動に取り組みます。
- ・日本語指導のカリキュラムを編成し、日本語の指導を行います。
- ・日本語や学習の理解に応じて授業科目を選択できます。
- ・フィールドワークで、きめの細かい支援を行います。
- ・ICT機器を活用し、授業の構成や資料の提示を行います。
- ・授業研修や生徒理解研修を計画的に実施し、授業力の向上や生徒理解に努めます。



特別活動

- ・生徒が主体的に話し合い、生徒が作る行事を実施します。
- ・日本の季節や文化に触れる行事を行います。
- ・遠足などの行事を通して仲間や社会との関わる楽しさを学びます。
- ・ゲームや集会などを通して、生徒のコミュニケーション力を育成します。

学校教育目標

「学ぶ喜び」 の実感

進路指導

- ・外部講師を招き、夢や自分らしさを見つける講話や体験活動を行います。
- ・高校見学や職場体験（見学）等を行い、将来への視野を広げます。
- ・進路相談や進路説明会を実施し、進学や就職をサポートします。

生徒指導

- ・人間関係プログラムなどを通して、円滑な人間関係を形成するスキルを身につけます。
- ・個別面談や健康相談を定期的を実施し、相談できる機会を確保します。

その他

- ・磐田本校と三島教室の交流活動を行い、学びの充実と心の広がり推進します。
- ・生徒の授業風景や活躍する姿を、ホームページ等で外部に発信します。



入学時の姿

- ・もっと勉強したいな
- ・もっと自信をつけたいな
- ・これからの自分にイメージをもちたいな



働き方改革

- ・会議の精選
- ・業務の平準化
- ・関係機関との連携強化

地域や支援団体との連携

学校運営協議会、大学、高等学校、県市町国際交流協会、NPO法人、企業、出入国在留管理局など

ふじのくに中学校の概要

令和7年度生徒数

R7.4.1現在

	第1学年	第2学年	第3学年	合計
磐田本校	10	9	11	30
三島教室	12	12	8	32
合計	22	21	19	62

生徒数 (R5→R6→R7) 磐田9→18→30 三島4→13→32

ふじのくに中学校の概要

令和7年度職員数

区分	教職員数									合計
	※1 校長	※2 教頭	教諭	教諭 養護	職員 事務	非常勤 講師	カウンセラー	スクール ワーカー	スクール・ソーシャル スタッフ	
磐田 本校	1	1	7	1	1	(6)	(1)	(1)	(1)	10
三島 教室			8	1	1	(5)	(1)	(1)		11
計	1	1	15	2	2	(11)	(2)	(2)	(1)	21

※1:校長は磐田本校勤務

※2:教頭は三島教室勤務

()は非常勤

磐田本校の取組

教育課程 日課表

ユーダイモニア・タイム (自由参加)	16:30~17:00	30分間
登校(掃除や準備)	17:00~17:15	15分間
始めの会	17:15~17:25	10分間
1時間目	17:25~18:05	40分間
2時間目	18:10~18:50	40分間
休み時間(喫食可)	18:50~19:10	20分間
3時間目	19:10~19:50	40分間
4時間目	19:55~20:35	40分間
終わりの会	20:35~20:45	10分間
完全下校	21:00	-

※ ユーダイモニア・・・自己実現や生きがいを感じることで得られる幸せ

磐田本校の取組

教育課程 時間割

項目	時間	月	火	水	木	金
登校	~17:15	ユーダイモニアタイム				
はじめの会	17:15~17:25					
1時間目	17:25~18:05	授業	授業	授業	音楽	授業
2時間目	18:10~18:50	授業	授業	授業	美術/技術家庭	授業
休み時間	18:50~19:10	20分休憩(食事可能)				
3時間目	19:10~19:50	授業	授業	授業	美術/技術家庭	授業 ユーダイモニアタイム
4時間目	19:55~20:35	授業	授業	授業	体育	授業 ユーダイモニアタイム
おわりの会	20:35~20:45					
完全下校	21:00					

磐田本校の取組

教育課程 カリキュラムの工夫

大きく二つのコースに分かれて科目を選択

《一定の日本語能力有》

《日本語能力不足》

教科学習

国語Ⅰ	国語 2、3
社会総合	社会総合
数学Ⅰ	数学 2、3
理科総合	理科総合
英語Ⅰ	英語 2、3

教科基礎

日本語＋
教科学習

日本語 (週5.5時間)
社会基礎
理科基礎
数学G
英語G

日本語学習中心の2クラス

日本語 (週9.5時間)
すらら日本語 を用いた ドリル学習

数学G
英語G

日本語 (週9.5時間)
すらら日本語 を用いた ドリル学習

数学G
英語G

□教科学習コース、教科基礎コースともに学習内容や日本語の理解に応じて教員がサポート（TT）

□履修方法について面談や進級のタイミングで本人の希望に添えるよう相談に応じて進める。

磐田本校の取組

教育課程 カリキュラムの工夫

年間時数	クラス	日本語				国語	社会	数学	理科	英語	技能	EDT	合計
		できる	漢字/読物	タブレット									
教科2,3	A	0	0	0	0	105	78.8	105	78.8	105	140	87.5	700
教科I	B	0	0	0	0	105	78.8	105	78.8	105	140	87.5	700
教科G	C	192.5	140	17.5	35	0	70	70	70	70	140	87.5	700
日本語IA	E	332.5	263	35	35	0	0	70	0	70	140	87.5	700
日本語IB	F	332.5	263	35	35	0	0	70	0	70	140	87.5	700

特別な教育課程を編成する中で、新たに設置している教科

- 「EDT（ユードイモニアタイム）」…学活、道徳、総合的な学習の時間
- 「学総（学習総合）」…生徒の主体的な探究・表現活動
- 「日本語」…1年で日本語能力試験N5の習得に必要とされる350時間の大部分を授業時間として確保

磐田本校の取組

教育課程 カリキュラムの工夫

ふじのくに中学校磐田本校の時間割（R7）

コース	月				火				水				木				金														
																	A週				B週										
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4			
A	教科2,3	数学①	英語①	国語①	社会①	数学②	英語②	国語②		理科①	理科②	国語③	英語③					数学③	社会②	理科 or 社会		数学③	社会②								
B	教科I	国語①	数学①	英語①		国語②	数学②	英語②				英語③	数学③					国語③				国語③									
C	教科G		社会①		日①		日②	日③	学習総合		日③	理科①	理科②	音楽	美術	体育	社会②	日④	日漢①	Y D T	社会②	日④	Y D T								
E	日本語IA	英語①	日①	数学①	日②	英語②	日③	日④		数学②	日⑤	日⑥	日⑦				日⑧	日漢①	日漢②		日漢③	日漢④		日漢⑤	日漢⑥	日漢⑦	日漢⑧	日漢⑨	日漢⑩	日漢⑪	日漢⑫
F	日本語IB		日①		日②		日③	日④			日⑤	日⑥	日⑦				日⑧	日漢①	日漢②		日漢③	日漢④		日漢⑤	日漢⑥	日漢⑦	日漢⑧	日漢⑨	日漢⑩	日漢⑪	日漢⑫

学習集団の弾力的運用

- 実験や発表活動が多くなる理科、社会科については「教科2,3」と「教科I」は2集団合同で授業を行う
- 母国での学習歴や母語と英語との親和性の差異が大きい数学科と英語科はそれぞれの教科ごとの習熟度に合わせて2集団に編成し直して授業を行う

磐田本校の取組

取組事例① ティーム・ティーチング



- 授業進行の補助
- 教師の指示理解の支援
- 学習支援



- 生徒と共に教師も学ぶ
- 複数の目で見取りと見立て

磐田本校の取組

取組事例② 教科で学ぶ楽しさを味わう



- その教科ならではの魅力
- 分かる楽しさ
- 調べる楽しさ
- 体験する楽しさ
- 知らなかったことを知る楽しさ
- できるようになる楽しさ

磐田本校の取組

取組事例③ 友達との関わりを通して学ぶ



- 授業の中での日常的な関わり
- 調べたこと、考えたことなどを日本語で発表

磐田本校の取組

取組事例④ 地域との関わりを通して学ぶ



- 外国人雇用の実態を知る
- 職場体験学習



三島教室の取組

「日本語の習得状況」に応じたコース

教科学習 コース	【日本語が十分に理解できる方】 すべての教科を日本の方と同じように 学習するコース
学習言語 コース	【日本語が上達してきた方】 授業中の思いや考えを 「日本語で伝える」力を育む
初期日本語 コース	【日本語をほとんど話せない方】 会話を中心に、「日本語で話したい・ 伝えたい」という思いを育む

三島教室の取組

「教科の習熟度」に応じた授業コース

基礎授業コース

数学・社会・理科

中学の学習に不安がある生徒が、教科の楽しさを実感しながら、教科の基礎概念を学ぶ

総合授業コース

国語・社会・数学
理科・英語

中学の教科書を使って学ぶ授業で、年間105時間程度で学べるよう学習内容を精選する

三島教室の取組

「なりたい自分」からコースを考える

トライアルタイム

自分の現状を把握



三島教室の取組

「なりたい自分」からコースを考える

トライアルタイム



面談

自分の現状を把握



自分の学習を見通す

「3年後のゴールを見据えた学習プログラム」

日本語の習得状況に応じた3種類の学習コース

教科の習熟度に応じた2種類の授業コース

三島教室の取組

自分なりの学びの時間を創る

ユーダイモニア・タイムⅠ	16:30～17:15	45分間
始めの会・アイスブレイク	17:15～17:25	10分間
1時間目	17:25～18:05	40分間
ユーダイモニア・タイムⅡ	18:05～18:25	20分間
2時間目	18:25～19:05	40分間
3時間目	19:10～19:50	40分間
4時間目	19:55～20:35	40分間
終わりの会・チェックアウト	20:35～20:40	5分間
ユーダイモニア・タイムⅢ	20:40～20:55	15分間
完全下校	21:00	—

三島教室の取組

「多様な集団」での授業

1週間あたりの授業数（週20時間）

国語	社会	数学	理科	英語
3	3	3	3	3
音楽	美術	保体	技家	ふじのくに タイム
1	1	1	1	1

学級活動・道徳・
総合的な学習の時間

社会・理科の授業には、同コースの3学年の生徒が参加。
3学年分の同分野内容をまとめ、年度ごとに別分野を学習。

三島教室の取組

一人ひとりの背景に寄り添う体制づくり

ひと

複数担任制
SC SSW
学生ボランティア



もの

ICT機器による支援
実物を使った授業



生徒

空間

全生徒でのHR
Chill room



三島教室の取組

取組事例① 授業形態の工夫



日本語も学習



オンラインによる授業



三島教室の取組

取組事例② 学校間での交流



このがっこうのせんせいもせいとともとしんせつです。
ただこのがっこうにはかよひのがすきです。
あなたのがっこうのせんせいとせいとのよじすはど"う"ですか？
あなたはがっこうにはかよひのがすきですか？

磐田とつながる



高校生と交流



三島教室の取組

取組事例③ 地域のイベントに参加



地区のお祭り



国際交流フェスタ

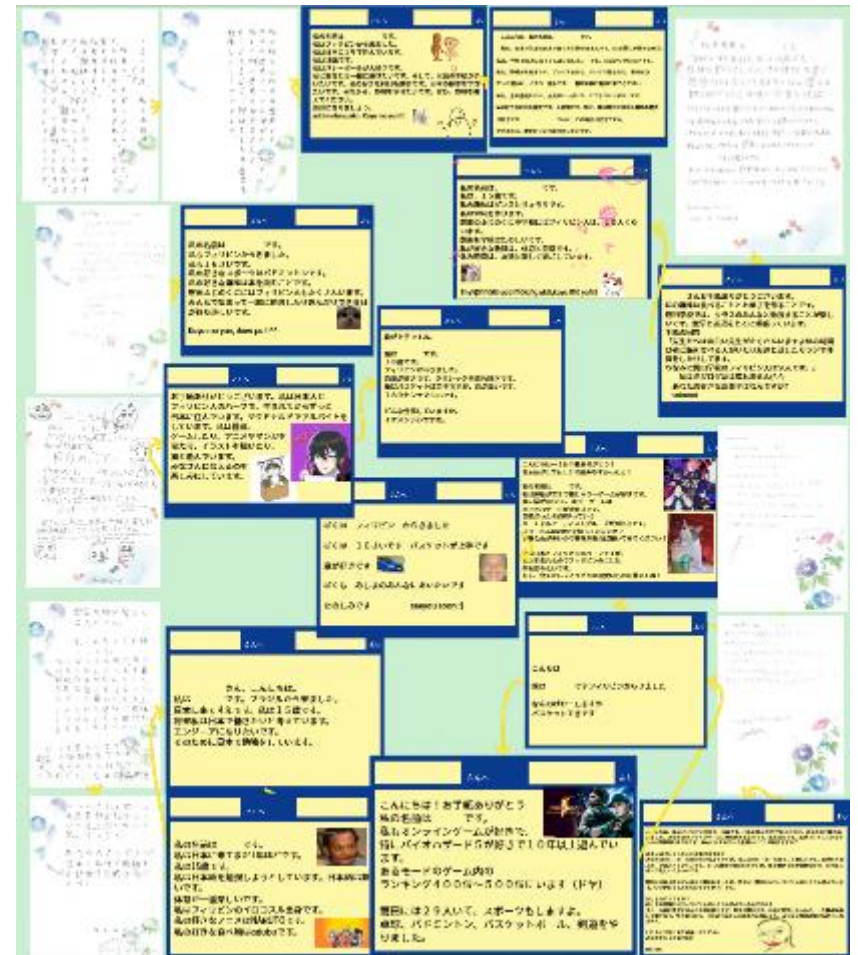
両教場の取組

手紙を通して交流

三島→磐田



磐田→三島



励みにつながる

心強さを感じる

御清聴ありがとうございました

